



天文を通じて日米交歓!!

——(米國の一アマチュアより)——

拜啓

米國で廣汎な讀者層を有つて居る雑誌「リテラリ・ダイゼスト」の七月號誌上に天文學に興味を有つ人々を喜ばす二つ記事が記載されて居ます。

一つは地球の地震現象の事で、他は巴里で全世界の天文學者の會合がなされる事に言及して居ります。

私の興味は後者の記事に惹かれました。そして下記の如く母國を去つて米國に滞在し、彼様な理想の擴張に多大の時を吝まない日本人の特別な關係に依つて、一層國際間の相互理解が招來される事を祈るや切であります。

ブローレイの長田氏は私達の會の一員で、米國に約三十拾年間滞在して居られます。彼は東亞天文協會の會員でもあり、貴協會の宛名も實は、彼より知らせて頂いたのであります。以下私が御報告致しますのも、彼の仕事が優れたものであり、又認めらるべきものであると思考するからです。

長田氏は米國でも天文愛好家として知られ、且つ天文に關しては一廉の智識を有つて居られます。彼は又ロータリ・クラブの名譽會員でありますので、其の席上屢々私的な會合の場合と同様に天文に就いて話されます。

然し、其れにも勝つて特記すべき事は、彼は米國に滞在する外國人の天文普及に力め、彼等と友情を圖り、尙且つ多大の時間を割いて、自分の天文器械を一般に公開して居られる事です。天文界に何事か起れば直ちに、各地の人々が彼の所へ押し寄せて來ます。尙彼は少數ではありますが、天文愛好者に望遠鏡を自作させました。彼等の製作が開始されますと直ぐに、現場へ出張して、多大の時間を捧げて、自分の經驗と智能を傾注して指導を與へます。其の結果製作品は立派に成功し、尙彼等の時間と勞苦を省く事多大であります。

私達の會の一員として上記の事柄が、貴協會員達にも興味ある事と確信する者です。 敬具

1935年7月28日

J. R. Hollingsworth

P. O. Box 307

Brawley, Calif.